



AWS におけるエンドポイントセキュリティ対策 の重要性と考え方

飯田 祐基

パートナーソリューションアーキテクト

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

自己紹介 (AWS)

飯田祐基 (いいだゆうき)

ロール

パートナーソリューションアーキテクト

経歴

- 大手ISPでネットワーク・サーバインフラエンジニア
- スタートアップでプロダクト開発、CTO
- バックオフィス系SaaS企業でVPoE、インフラ部門責任者
- 大手リテール企業でDX推進



本日のアジェンダ

- エンドポイントセキュリティの重要性
- AWS におけるゼロトラスト
- ゼロトラストアーキテクチャ実現に向けたアプローチ
- AWS Verified Access を利用したアクセス管理
- Jamf と AWS の連携
- まとめ

エンドポイントセキュリティの重要性

企業システムを取り巻く環境変化とセキュリティ

働き方の多様化と
コラボレーション



アクセス経路の多様化や
リモートアクセスにより
ネットワーク境界が曖昧に

DX
(Digital Transformation)



様々な場所、業務でより IT
システムが利用されるよう
になってきている。

高まる
データ保護のニーズと
アプローチ変化



生成 AI の活用が進むなど、
企業データがより活用され
はじめています。

AWS はデータの宝庫



Matt Garman
CEO, AWS

<https://www.youtube.com/watch?v=LY7m5LQliAo>

AWS おける脅威の例 (DDoS)



DDoS イベント
(2024 Q1)

21.2万
回



最大 Flood 攻撃

1.55 億
リクエスト/秒



最大 NW 帯域

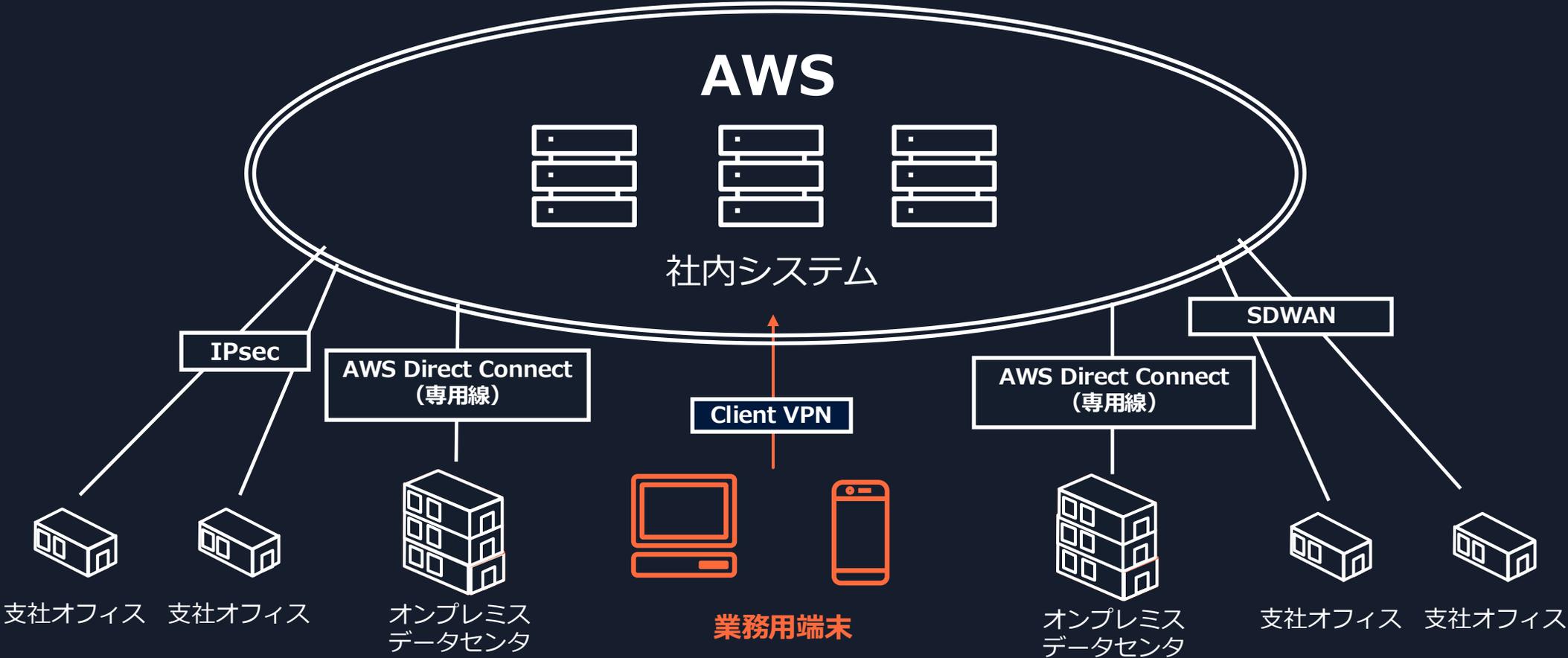
842
Gbit/秒



最大パケット

2.2 億
パケット/秒

AWS をコアとした社内ネットワーク



業務端末から様々な場所へアクセス可能 → 便利な反面、考慮すべき事がある

考慮すべきリスク: ランサムウェア攻撃



初期侵入

脆弱な箇所を見つけ出し侵入



業務端末へ侵入



内部活動

内部ネットワークを探索し情報収集、権限昇格



内部ネットワークを通じて AWS に侵入



データ持ち出し

目的のデータをネットワークから持ち出し



AWS 内に保存されているデータへアクセス



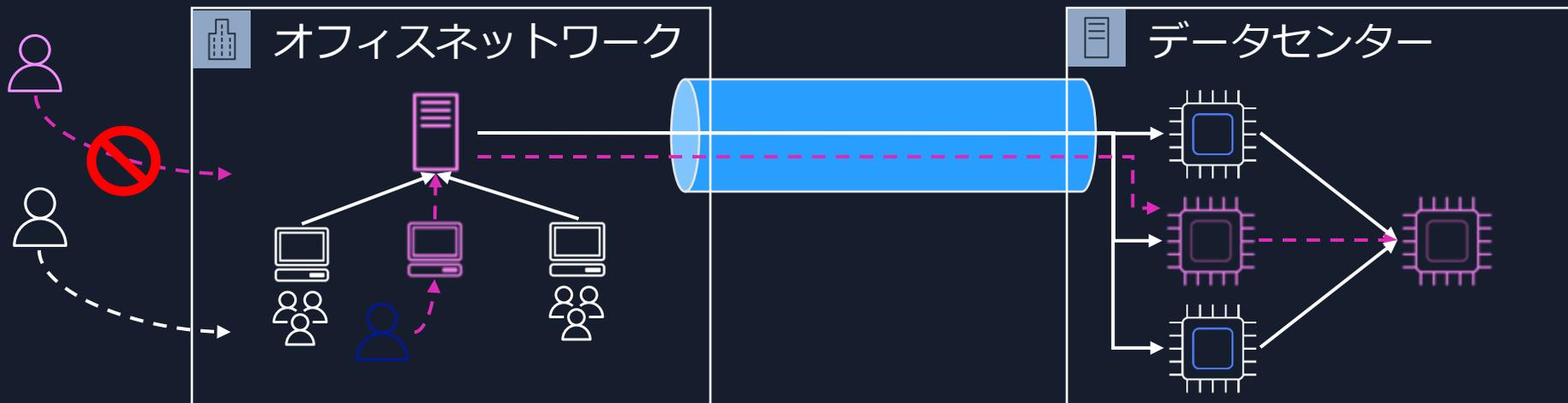
ランサムウェア実行

ファイルの暗号化、身代金の要求

AWS におけるゼロトラスト

Before “Zero Trust” – ネットワーク境界防衛

- 境界の外側：
 - 信頼できる「ネットワークロケーション」からの接続のみを許可
- 境界の内側：
 - 相手を暗黙的に信頼しており、水平移動されやすく影響範囲を制限しにくい



信頼できるネットワーク同士での水平移動

“AWS は **ゼロトラスト**が話題になる前に、あらゆるセキュリティの話で最初から、API を保護するために**ネットワーク**に**依存しないアプローチ**を先導してきた”

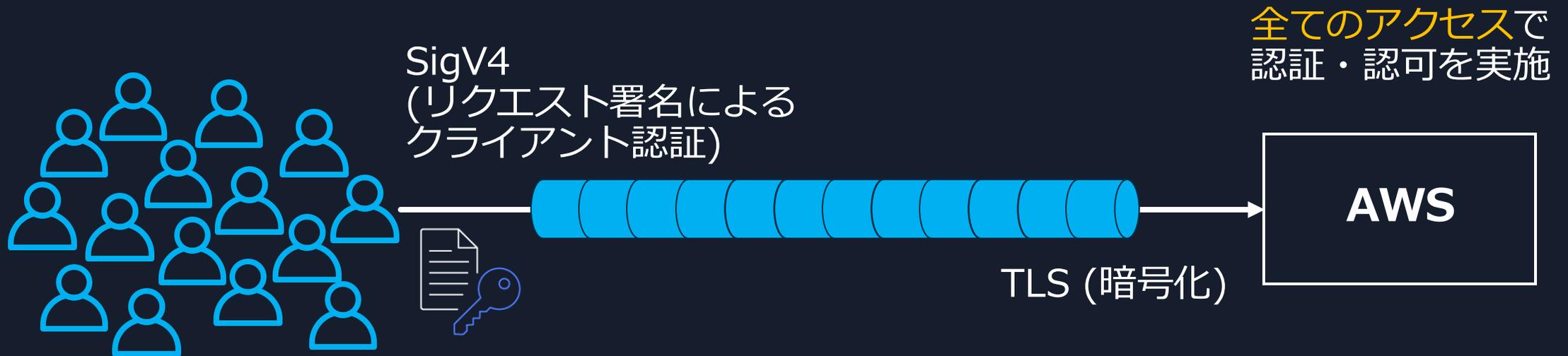
Stephen Schmidt

Chief Information Security Officer, AWS (now Amazon CSO)

AWS re:Inforce 2021 - Keynote

アイデンティティ中心の認証・認可

AWS の API アクセスにおける制御



毎秒数億リクエストの割合で、個別に認証・認可が行われている

AWS が考えるゼロトラストとは

伝統的なネットワーク境界だけに依存するのではなく、
アイデンティティ境界との組み合わせで考えていく

データ保護のセキュリティ管理策を提供するための
コンセプトモデルとそれに関連する一連のメカニズム

「ゼロトラスト」は統合的な対策が必要

| カテゴリ例 | 概要 | キーワード例 |
|-------------------|------------------------------------|---|
| アイデンティティ & アクセス管理 | アイデンティティ管理とセキュアな認証・アクセス認可 | <ul style="list-style-type: none">SSO, 多要素認証IDaaS(Identity as a Service) |
| スマートデバイス管理 | アクセスする端末のインベントリ情報や構成・パッチ適用状況の管理 | <ul style="list-style-type: none">MDM(Mobile Device Management)EMM(Enterprise Mobility Management) |
| エンドポイント保護 | アクセスする端末におけるマルウェアや不正アプリ対策 | <ul style="list-style-type: none">EDR(Endpoint Detection & Response) |
| ネットワーク (リモートアクセス) | ネットワークやアプリケーションへのリモートアクセス | <ul style="list-style-type: none">SDP(Software Defined Perimeter)SD-WAN(Software Defined WAN) |
| クラウドアクセス管理 | 外部アプリケーションに対するアクセス | <ul style="list-style-type: none">SWG(Secure Web Gateway), Web分離CASB(Cloud Access Service Broker)DLP |
| アプリケーション・クラウド構成管理 | クラウドサービスの構成管理およびアプリ/コンテナ等のセキュリティ管理 | <ul style="list-style-type: none">CSPM(Cloud Security Posture Management)CWPP(Cloud Workload Protection Platform) |
| インシデント・レスポンス | ログの統合、横断的なセキュリティ分析やスレットハンティング | <ul style="list-style-type: none">SIEM(Security Information and Event Management)SOAR(Security Orchestration, Automation and Response) |

※切り口およびカテゴリは例

ゼロトラストアーキテクチャ実現に 向けたアプローチ

AWS でゼロトラストを実現するためのポイント



1. 二者択一ではなく、**ネットワークとアイデンティティ**を組み合わせる



2. **ユースケース**にフォーカスして考える



3. 画一的に適用しようとせず
システムやデータの価値の違いを考慮する

ネットワークとアイデンティティを組みあわせる

アイデンティティ中心

AND

ネットワーク中心



- AWS Identity and Access Management (IAM)
- AWS Verified Permissions
- AWS Verified Access

etc



Network Access Control List
(Network ACL)



ユースケースにフォーカスして考える



Human-to-application



Machine-to-machine

- 技術的な原理原則は「同じ」
- 解決したい課題に立ち返って考える
- 高付加価値な論点に取り組む

システムやデータの価値に応じた適用



- **保護したいシステムやデータの特徴**を踏まえてアーキテクチャを考える
- 「**画一的**」なやり方にこだわらず対象に応じて**適したもの**を模索しよう

AWS Verified Access を利用した アクセス管理

より簡単でセキュアな接続ニーズの高まり

オンプレミス環境を
経由したアクセス



AWS Direct Connect

AWS Site-to-Site VPN

VPN を用いた
ダイレクトアクセス



AWS Client VPN

シームレスなアクセスと
きめ細やかなアクセス制御の両立



ネットワークに制約されない
自由なアクセス

アプリケーションと
セッション単位アクセス認可

ゼロトラストの考え方に近づいていく

シームレスで安全なリモートアクセスを実現

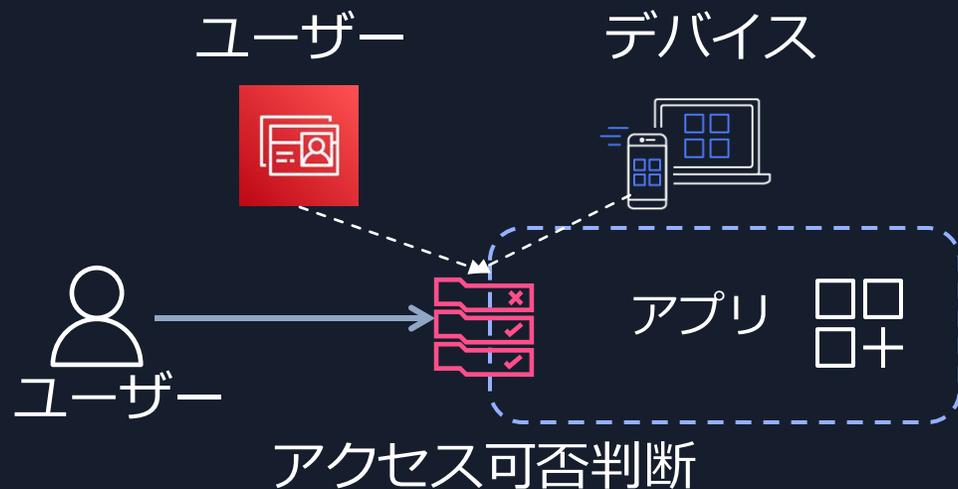


AWS Verified Access

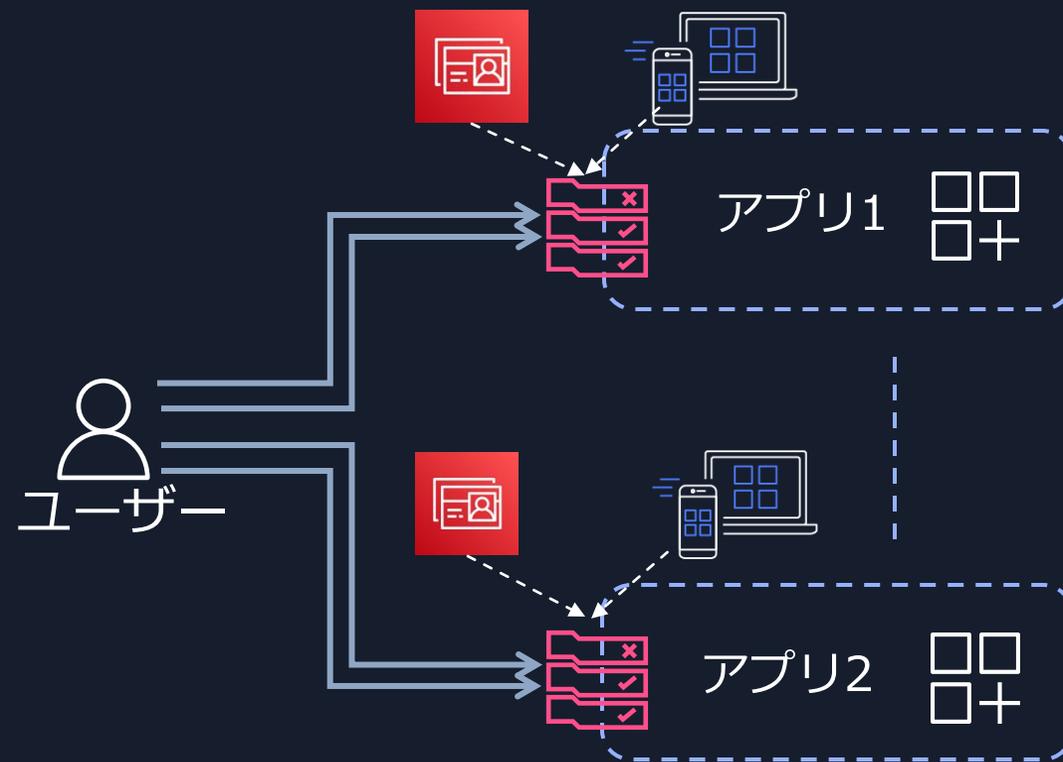
- **あらゆる場所からのシームレスなアクセス**
 - VPN を使う事なく、安全に企業アプリケーションを利用
- **ユーザーとデバイスに基づくアクセス制御**
 - ネットワークの場所に依存しない「信頼」を検証
 - 全てのリクエストを継続的にリアルタイム評価
- **セキュリティ運用をシンプルに**
 - 一元化されたポリシーの作成と管理
 - ログ一元化で監視・監査への迅速な対応と分析

AWS Verified Access のコンセプト

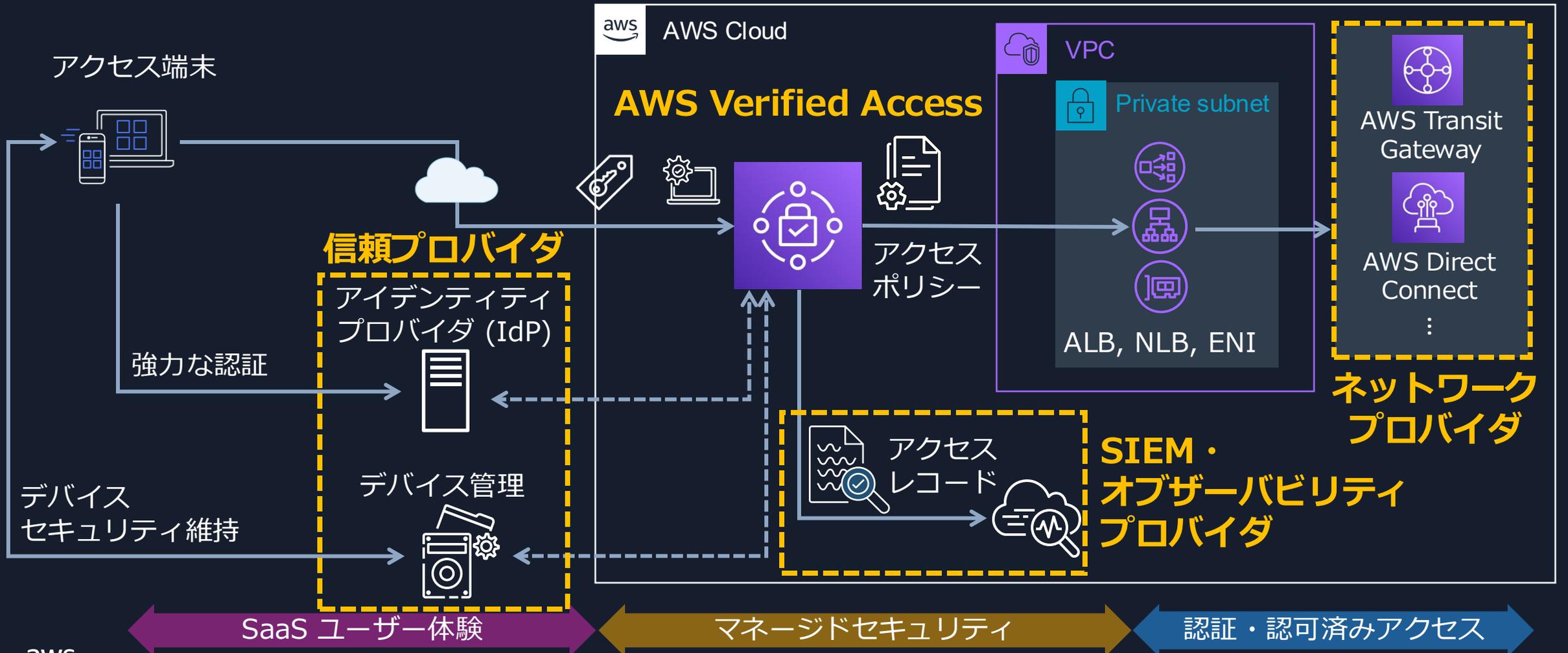
複数のソースを利用して
信頼できるアクセス元か検証



リクエストごとの継続的な検証

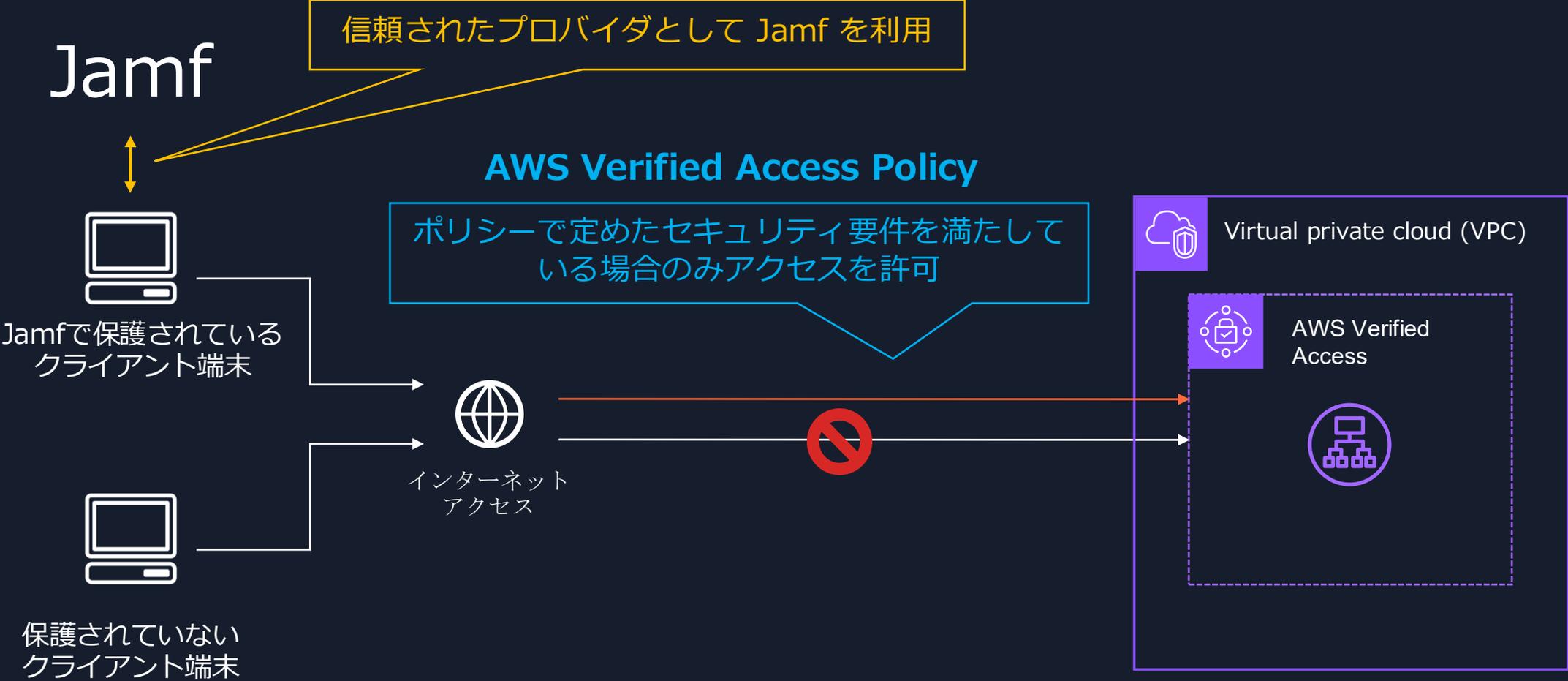


シームレスなリモートアクセス体験



Jamf と AWS の連携

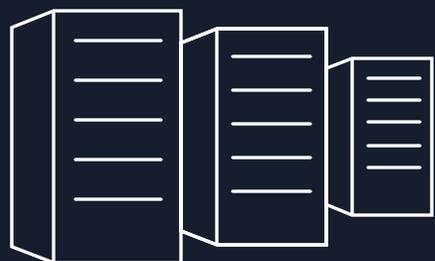
AWS Verified Access との連携



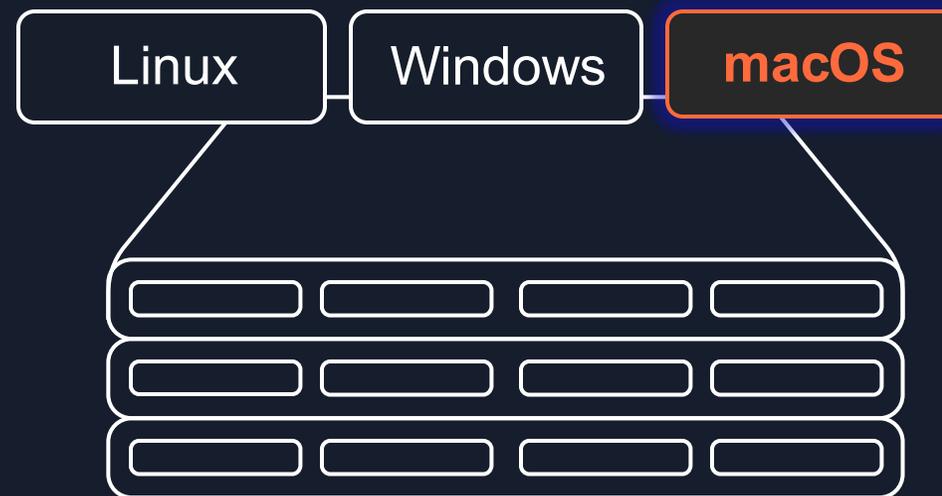
Integrating AWS Verified Access with Jamf as a device trust provider
<https://aws.amazon.com/jp/blogs/security/integrating-aws-verified-access-with-jamf-as-a-device-trust-provider/>



Amazon EC2 Mac インスタンスのセットアップ効率化



Amazon EC2



- AWS 上（仮想環境）で Mac OS を利用することが可能
- 主に iOS アプリケーション開発時の動作確認での利用を想定
- Jamf を使う事でテストに必要なソフトウェアの自動インストールが可能

AWS Marketplace での販売

Jamf が提供する各ソリューションAWS Marketplace を通じて購入可能

AWS Marketplace > カスタマーエクスペリエンスのパーソナライゼーション > Software as a Service (SaaS) > Jamf Pro

Jamf Pro 情報
販売元: Jamf

購入オプションを表示

無料で試す

プライベートオファーをリクエスト

AWS にデプロイ済み 無料トライアル Vendor Insights

JamfはAppleのデバイス管理の標準です。Jamf Proは業界をリードする受賞歴のあるMDMソリューションで、エンドユーザーエクスペリエンスに悪影響を与えたり、IT部門がデバイスに触れたりすることなく、デバイスの導...

さらに表示

☆☆☆☆☆ (0) 0 AWS のレビュー | 1916 外部のレビュー

概要 機能 料金 法的 使用量 リソース サポート 製品比較 新規 レビュー

概要

Possibilities of Jamf Pro

製品ビデオ

ハイライト

- Apple専用設計-人気のUEMソリューションは1つのツールですすべてのプラットフォームを管理しようとしています、Jamfは常にAppleのデバイス管理に専念してきました。
- 自動化-デバイスの導入、管理、セキュリティを含むAppleのライフサイクル全体を自動化することで時間を節約できます。
- エンドユーザーサポート-従業員が自分でアプリをリクエストしたりパスワードを変更したりできるので、従業員が初日から生産的に過ごせるように、カスタマイズされたデバイスを従業員に提供します。

詳細

販売元 Jamf

- Jamf Pro
- Jamf Connect
- Jamf Protect

<https://aws.amazon.com/marketplace/seller-profile?id=33afbdc6-58a7-4ec3-86cf-6cbab05f0a5c>

まとめ

まとめ

- AWS においてエンドポイントセキュリティがなぜ重要なのか
- AWS におけるゼロトラスト
 - ネットワークと認証を合わせた制御
 - AWS Verified Access を利用したシンプルなアクセスコントロール
- Jamf と AWS の連携

Thank you!

飯田 祐基

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
パートナーソリューションアーキテクト